



温暖化ワインにどう影響

学びのWS

「ラムの『学びのワー

クシヨップ（WS）』

が10月30日、諏訪市駅

次世代の学び推進フォ
前交流テラス

「ワインと温暖化」を皮切りに始まった学び
のワークショップ

チヤオ」で始まつた。初回は「温
暖化で変わる八ヶ岳山麓の未来を
一緒に考えよう」をテーマに講師
2人を迎えて、ワインを取り巻く
環境やその奥深さなどを指摘。産地ボジョレー
のブドウ畠の様子を映

レンチレスラン「エ
スボワール」のソムリ
エ野村秀也さんと、ワ
インの輸入会社の「サ
ンフオニー」代表の竹
下正樹さん。「ワイン
の魅力—温暖化による
影響と高冷地の可能
性」と題して話した。

竹下さんは、フランス
におけるワインと温
暖化の関係について、
「極端な気候や乾燥が
課題になっている」と

像で紹介しながら、地域によっては極端な気候変動の影響で収穫量が減少していることなどを説明した。

塩尻市生まれの野村さんは、自身が影響を受けた茅野市出身のソムリエ、小飼一至さんに触れ、「地方出身からでも世界に通じるソムリエになれるんだと感じた」と資格取得時の思いを振り返った。

歴史やワインに関わる仕事にも触れた。

ワーキシヨップは「ワインと温暖化」「繩文とSDGs」「たのしい数学」「地図から読む世界情勢」の4コ

ース。12月中旬にかけて同テラスや諏訪教育会館などを会場に開く。参加無料。対象者は諏訪地域の中高生。申し込み、詳細は公式ホームページで。同フ

オーラムは「普段の授業では学べないことを知つて将来の糧にしてほしい」と話している。